

平成 26 年 4 月 6 日

父母について

西東京本部浜田山支部

藤井 祐

ぼくが空手を始めた理由は強くなりたかったからです。ようちえんの時、サッカーや野球をやりがらなかったぼくに、何かスポーツをやらせたいとお父さんとお母さんがなやんでさがしてくれたのが空手でした。

最初は「基本 1 本目」「基本 2 本目」と順調に覚えていったのですが、それまであまりスポーツにとりくんでこなかったので「基本 3 本目」でいきなりつまずき、なかなか覚えられず苦しい思いをしました。ですが、お父さんが「ここはこうするんだよ」と言って教えてくれたので、すぐにできるようになりました。

しかし初めての昇級テストを受けるときにかぜを引いてしまい、受けることができませんでした。その後も、小学校 3 年生の時には右手を骨折してしまい、2 か月の間、空手をすることができませんでした。ほかにもいっぱい苦しいことがありましたが、それでもお父さんやお母さんがはげましてくれたので、今日までつづけることができました。

週に 2 回、必ず毎週土曜日と日曜日はがんばって練習に行きました。そして本部長や支部長、指導してくれたみなさんのおかげで初段を受けられるまでになりました。

初段になったら、今度はみんなに教えてあげられるようにして恩返しがしたいです。本部長や支部長、指導してくれたみなさん、そしてお父さん、お母さん、ありがとうございました。これからもがんばります。